

光と音の

サーカス

プレスリリース

物語音楽家と照明作家と現代美術家による即興舞台

出演：CINEMA dub MONKS / 物語音楽家

渡辺敬之 / 照明作家

ゲスト出演：小金沢健人 / 現代美術作家

舞台美術：スズキタユキ / 裁縫師

会場 吉野町煉瓦倉庫

青森県弘前市吉野町2-1

日時

8月20日【土】ワークショップ

14時00分（15時30分終了予定）

参加無料
※要申込

8月21日【日】公演

入場無料

開場 13時30分

開演 14時00分（16時00分終了予定）

Photo / Ryo Mitamura



HIROSAKI
DESIGN
WEEK

開催概要

『光と音のサーカス 弘前公演』

開催日：2016年8月21日(日) 開場13:30 開演14:00 [終了予定 16:00]

会 場：吉野町煉瓦倉庫(青森県弘前市吉野町2-1)

入場料：無料(申込み不要)

出 演：CINEMA dub MONKS(物語音楽家)、渡辺敬之(照明作家)

ゲスト出演：小金沢健人(現代美術作家)

舞台美術：スズキタカユキ(裁縫師) ※本公演には出演しません

『光と音のサーカス ワークショップ』

開催日：2016年8月20日(土) 開始14:00 [終了予定 15:30]

会 場：吉野町煉瓦倉庫(青森県弘前市吉野町2-1)

参加費：無料(定員20名 ※要申し込み)

申込先：NPO法人 harappa 電話. 0172-31-0195 e-mail. post@harappa-h.org

主 催：弘前市

後 援：弘前市教育委員会

企画運営：NPO法人 harappa

問合せ：NPO法人 harappa(担当:小杉) 電話. 0172-31-0195 e-mail. post@harappa-h.org

吉野町煉瓦倉庫は、美術館を核とした文化交流拠点として、
2020年の開館を目指し、生まれ変わります。



施設開館前のプレイベントとして開催する「光と音のサーカス」は、物語音楽家・CINEMA dub MONKS、照明作家・渡辺敬之に加え、本公演ではゲストに現代美術作家・小金沢健人を迎え行われる即興アートパフォーマンスです。

煉瓦倉庫内の黒い壁に囲まれた空間の中で、照明作家が作る光と闇、美術作家による映像、物語音楽家が奏でるウッドベースやフルートで紡ぎだされる物語のある音楽。全てが絡み合った瞬間、新しい物語が動き出す。新しい舞台の形です。「光と音のサーカス」は金沢市民芸術村などでも行われ、音楽ライブや演劇、ダンス、サーカス等の様々な要素が混ざり合った特徴的な演出は、多くの観客を魅了してきました。本公演でも吉野町煉瓦倉庫内の大空間の新たな魅力を存分に引き出すことが期待されます。

公演前日に行われるワークショップでは、本公演の象徴でもある白い布を用いた舞台装飾を、布を裂いたり、巻いたりしながら、参加者のみなさんと一緒に作り上げます。こどもから大人までどなたでもご参加いただけるワークショップです。

開催趣旨

本企画は、弘前市が進める美術館を核とした文化交流拠点の施設開設前のイベントとして開催いたします。

公演の観覧やワークショップ等を通し、アートのおもしろさに触れ、参加者がアートに興味をもつ、または関心を深めるきっかけとし、将来的に煉瓦倉庫が改修されて文化交流拠点になることを参加者が実感できるように取組を行います。

吉野町煉瓦倉庫(旧吉井酒造煉瓦倉庫)

3つの棟からなる煉瓦倉庫は明治・大正期の建造物で、延床面積約4,000㎡の巨大な倉庫は、酒造倉庫・工場として使われていました。かつては東北最大の酒造工場としての規模を誇り、日本でのシードル発祥の地としても知られています。

過去に3度(2002年、2005年、2006年)、美術家・奈良美智(青森県弘前市出身)の展覧会が開催され、市民ボランティアと共に作り上げられた展覧会は大きな話題を呼びました。

2015年に弘前市が取得し、2020年に美術館を核とした施設に生まれ変わる予定です。



公演当日の撮影について

公演当日の撮影は可能です。その際は、フラッシュおよび照明のご使用はお控えください。また、公演中に移動する際や撮影位置に関しては、お客様が気にならない程度で調整いただけますと幸いです。

関連イベント

【吉野町煉瓦倉庫見学会】

「光と音のサーカス 弘前公演」当日には、スタッフによる煉瓦倉庫の見学ツアーも開催します。改修前の煉瓦倉庫を御覧いただける貴重な機会ともなっていますので、ぜひ足をお運びください。(会場内には過去に吉野町煉瓦倉庫内で行われた美術展などのパネル展示もございます。観覧自由。)

◎ 8月21日(日) 1回目:午後1時 2回目:午後4時 各回30分程度

▽定員 各回25名(※要申込)

▽申込先 NPO法人harappa 電話 0172-31-0195 メール post@harappa-h.org

【れんが倉庫こども写生会】

小学生を対象に吉野町煉瓦倉庫を題材にした「れんが倉庫こども写生会」を実施いたします。

◎ 8月9日(火)※雨天時は翌日開催 午後1時から5時まで

▽開催場所 土淵川吉野町緑地(青森県弘前市吉野町2-7)

▽定員 20人(定員になり次第、締め切らせていただきます)

▽対象 小学1年生から6年生

▽参加費 無料(要申込)

▽申込先 NPO法人harappa 電話 0172-31-0195 メール post@harappa-h.org

仕立て屋のサーカスについて ※本公演は、仕立て屋のサーカスの特別編成で実施します。



物語音楽家・CINEMA dub MONKS、裁縫師・スズキタユキと照明作家・渡辺敬之による即興舞台。これまでに何度か共演したのち、新たなグループ「circo de saastre (シルコ・デ・サストレ)=スペイン語で“仕立て屋のサーカス”として2014年より活動開始。その場にいる観客は、気づいたらその物語の一部となり、どこか遠くの場所へ連れて行かれる。音楽なのか、演劇なのか、ダンスなのか、サーカスなのか、何かわからないが、音と布と光の中に物語がある。

◎ これまでの公演

2014

7/5-7 VACANT (東京)、1/19 京都芸術センター (京都)、8/8-10 函館民俗芸術祭 (北海道)、2/8 象の鼻テラス (横浜・TPAM)、11/23-24 rizm (兵庫・篠山)、2/14 VACANT (東京・TPAM)

2015

6/13-15 VACANT (東京)、7/11-12 元立誠小学校 (京都)、7/30-31 CAFE UNIZON (沖縄)、11/2-3 早川倉庫 (熊本)

2016

1/10-16 VACANT (東京)、7/23 大津倉庫 (鹿児島)、7/25-26 早川倉庫 (熊本)、7/29-31 FACTORY UNVELASHU (福岡)
8/5-6 金沢 21 世紀美術館 (金沢)

出 演

CINEMA dub MONKS / 物語音楽家



マルチプレイヤー・曽我大穂とジャズ・ベーシストのガンジー西垣を中心に1999年に結成。「物語のある音楽」をテーマに映像を使い、「一本の映画」のようなライブを行う。4度に渡るヨーロッパツアー、ニューヨーク公演、FUJI ROCK、ARABAKI ROCKなどの大型野外フェスティバルに参加するなど日本や世界各地の観客を魅了。

CMの音楽のほか、二階堂和美やハナレグミなど数多くのミュージシャン達のレコーディングやサポートメンバーなど、様々な形で活動を展開している。小説家・いしいしんじの即興小説と音楽のコラボレーションや、写真・ダンス・映像・演劇などの様々なジャンルとの共演も多い。これまでに1枚のアナログ盤と3枚のCDアルバム盤をリリース。

渡辺敬之 / 照明作家



2009-12 年原宿のアートスペース VACANT にて勤務。2012 年フリーランスとして活動開始。ライブ照明を中心に、ミュージックビデオ、CM 撮影の照明なども手掛ける。また、展覧会や展示会、ショーやパーティー会場の照明演出、建築物や店舗照明ディレクションなど、照明にまつわるさまざまなことに携わる。

ゲスト出演

小金沢健人 / 現代美術作家



1974 年東京都生まれ、ベルリン（ドイツ）在住。

武蔵野美術大学卒業後に渡独、以来ベルリンを拠点に活動続ける。

映像、インスタレーション、パフォーマンス、ドローイングなど多彩な表現には、身の回りのものが素材として用いられ、そこに動きや音加わることで、日常にひそむ謎や美しさ、あるいは視点のずれから生じる独特のおかしみが浮かび上がってくる。近年積極的に発表している、映像や光を用いたパフォーマンスでは、光とそれがつくりだす映像の特性への解釈が試みられている。

近年は、「蝶を放つ」(TALION GALLERY・東京/2015)、「PORTRAITS AND PLANETS」(Position Art Fair・ベルリン/2014)等の個展開催のほか、グループ展「われらの時代：ポスト工業化社会の美術」(金沢 21 世紀美術館/2015)などに出演。

舞台美術

スズキタカユキ / 裁縫師

東京造形大学在学中に友人と開いた展示会をきっかけに映画、ダンス、ミュージシャンなどの衣裳を手掛けるようになる。2007 年より東京コレクションに参加。2009 年には、Milano Unica でのイベント「オン・ステージ」に世界の新鋭デザイナー 10 名の中の一人として選ばれ、合同ショーに参加。2012 年には、インドにて開催された「Wills Lifestyle India Fashion Week」に招待されている。また、様々な企業とのコラボレーションや、アートユニット TENKI、即興プロジェクトの lunometers への参加など活動の場を広げている。最近では、ウェディングドレスや舞台衣装などの製作に加え、会場全体のディレクションなども行う。